

学校法人 河原学園 未来高等学校 R7年度年間指導計画

教科	理科	科目	物理基礎	学年	2年次	単位数	2単位	
教科書	東京書籍 新編物理基礎		副教材	なし				
レポート 添削指導	6通	スクーリング 面接指導	8回	メディア 視聴票	4通	試験	2回	
指導 目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常生活や社会との関連を図りながら、物体の運動と様々なエネルギーについて理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。</li> <li>観察、実験（映像教材などを含む）などを行い、科学的に探究する力を養う。</li> <li>物体の運動と様々なエネルギーに主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。</li> </ul>							
No	日付	レポート 提出日	単元	学習内容		面接 回数	メディア(NHK高校講座)	
1	4月12日	5月22日	1編 物体の運動とエネルギー 1章 直線運動の世界 物理量の表し方 ・物理量の表し方 ・有効数字と不確かさ	1 運動の表し方 3 等速直線運動 5 速度が変わる運動 7 鉛直投射	2 変位と速度 4 合成速度と相対速度 6 自由落下運動 8 水平投射	2	1 運動の表し方 2 等速直線運動 3 速度が変わる運動 4 等加速度直線運動 5 自由落下運動 6 投げられた物の運動	
2	5月22日	6月19日	2章 力と運動の法則	9 力とつり合い 11 垂直抗力と弾性力 13 「運動の変化」と「力」 15 動摩擦力とその性質 17 空気の抵抗力	10 力の合成と分解 12 慣性の法則 14 作用・反作用の法則 16 静止摩擦力とその性質 18 水圧と浮力	1	7 力とつり合い 8 力の合成と分解 9 垂直抗力と弾性力 10 慣性の法則 11 運動の変化と力 12 作用反作用の法則 13 動摩擦力と静止摩擦力 14 空気の抵抗力 15 水圧と浮力	
3	6月19日	7月17日	3章 力学的エネルギー	19 仕事 21 運動エネルギー 23 力学的エネルギーの保存 24 いろいろな運動でみる力学的エネルギー	20 仕事率 22 位置エネルギー	1	16 仕事と仕事率 17 運動エネルギー 18 位置エネルギー 19 力学的エネルギーの保存	
4	7月17日	10月29日	2編 さまざまな物理現象とエネルギー 1章 熱	1 温度と熱 3 熱の移動と保存 5 熱機関と不可逆変化	2 熱と物質 4 熱と仕事	2	20 温度と熱 21 熱の移動と保存 22 熱と仕事 23 物理で解決しよう①	
5	10月29日	11月27日	2章 波	6 いろいろな波 8 横波と縦波 10 定在波 12 音波 14 気柱の固有振動	7 波の表し方 9 波の重ね合わせ 11 波の反射 13 弦の固有振動	1	24 波の表し方 25 横波と縦波 26 波の重ね合わせ 27 音波 28 弦の固有振動 29 気柱の固有振動	
6	11月27日	1月23日	3章 電気	15 動いていない電気、動いている電気 16 電流と電気抵抗 18 電力と電力量 20 発電機のしくみ 22 電磁波	17 直列接続と並列接続 19 電流がつくる磁場 21 直流と交流	1	30 静電気と電流 31 電流と電気抵抗 32 電力と電力量 33 電流が作る磁場 34 発電機のしくみ 35 直流と交流 36 電磁波 37 物理で解決しよう② 38 エネルギーの変換と保存 39 原子核のエネルギー 40 エネルギーの利用と課題	
学習の成果に係る評価規準								
<b>【知識・技能】</b> ・自然の事象・現象に対する概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。 ・観察、実験（映像教材などを含む）などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事象・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。								
<b>【思考力・判断力・表現力】</b> ・自然の事象・現象の中に見通しをもって課題や仮説を設定し、観察、実験（映像教材などを含む）などを行い、得られた結果を分析して解釈し、根拠を基に導き出した考えを表現している。								
<b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> ・自然の事象・現象に主体的にかかわり、それらを科学的に探究しようとするとともに、探究の過程などを通して獲得した知識・技能や思考力・判断力・表現力を日常生活や社会に生かそうとしている。								
○上記の評価規準に基づき、レポート及び課題等の提出物の状況、スクーリングに取り組む姿勢及びスクーリングに基づく成果、前期・後期2回の試験結果を総合的に判断して、評価を行う。 ○【知識・技能】【思考力・判断力・表現力】【主体的に学習に取り組む態度】の3つの観点ごとに、それぞれ上位からA、B、Cの三段階で評価を行い、その観点別評価に基づき、総合的な評価を5段階（最上位を5とし、最下位を1とする）で評価する。								
単位の修得の認定に関する基準								
観点別評価に基づいて総合的に評価された5段階評価のうち、5～2の評価を受けた者に対して、科目に配当された単位数の修得を認める。								